2023 年度企業評価アンケート分析結果報告書

1. アンケート概要

目的:企業・団体が求めている人材像を調査し、	卒業生の社会評価を把握することで本学の教育
改善につなげる	

□ 対象企業:326社(本学学内合同企業説明会およびその他イベント参加企業)

□ 有効回答数:107 社108 名(回答率 33.1%) ※昨年度 45%

□ 400 社率: 77 社/全 107 社 ※アンケート回答は「**全体、400 社」**の区分で分析

2. アンケート項目

一. 学生に求めるもの

・芝浦工業大学の学生を採用するにあたって特に重視する点について、該当する項目を学部生、 大学院生それぞれ 5 つまでチェックしてください。

・15 項目、最大 5 項目 (1. コミュニケーション能力 2. 主体性 3. リーダーシップ 4. 誠実性 5. 協調性 6. ポテンシャル 7. チャレンジ精神 8. 職業観・就労意識 9. 論理性 10. 柔軟性 11. 責任感 12. 一般教養 13. 工学基礎力 14. 専門性 15. 研究開発能力)

二. 海外渡航経験や英語力について

- (1) 採用に際し、海外渡航経験や留学経験も判断材料にしますか?
- (2) 採用に際し、英語力も判断材料にしますか?
- (3) 入社してから英語力は必要ですか?
- (4) 新卒入社時に英語力は理想的にはどの程度あった方がよいとお考えですか? (TOEIC スコア基準)

三. PBLについて

- (1) 採用に際し、PBL の経験は判断材料になりますか?
- (2) PBL の経験は、入社後の実務に際して役立つとお考えですか?

四. 芝浦工業大学の卒業生に対する評価(在籍している場合)

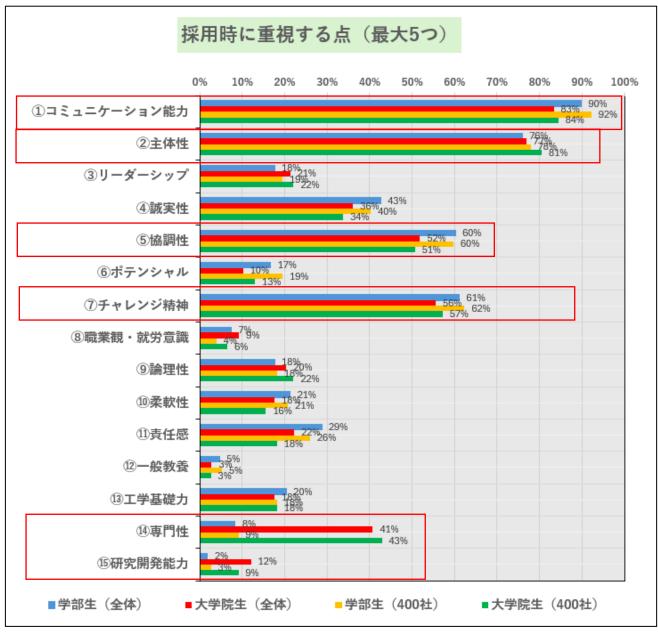
・14 項目 (1. コミュニケーション能力 2. 主体性 3. リーダーシップ 4. 誠実性 5. 協調性 6. ポテンシャル 7. チャレンジ精神 8. 職業観・就労意識 9. 論理性 10. 柔軟性 11. 責任感 12. 工学基礎力 13. 専門性 14. 研究開発能力 15. 語学力)

3. アンケート結果

一. 学生に求めるもの

1-1. 芝浦工業大学の学生を採用するにあたって特に重視する点

全体 108 名、400 社 77 名を分母とし、〇の回答を分子として比率算出



- ・ Top3 は①コミュニケーション能力、②主体性、⑦チャレンジ精神
- ・ 4位は**⑤協調性**(集団生活でのエピソード、グループディスカッション等で評価される可能性 有り)
- ・ ⑭専門性、⑮研究開発能力は大学院生に求められる

1-2. 学部生/大学院生比較

	全体			400社			
	学部生	大学院生	GAP(大学院生 – 学部生)	学部生	大学院生	GAP(大学院生 – 学部生)	
①コミュニケーション能力	90%	83%	-6%	92%	84%	-8%	
②主体性	76%	77%	1%	78%	81%	3%	
③リーダーシップ	18%	21%	4%	19%	22%	3%	
④誠実性	43%	36%	-6%	40%	34%	-6%	
⑤協調性	60%	52%	-8%	60%	51%	-9%	
⑥ポテンシャル	17%	10%	-6%	19%	13%	-6%	
⑦チャレンジ精神	61%	56%	-6%	62%	57%	-5%	
⑧職業観・就労意識	7%	9%	2%	4%	6%	3%	
9論理性	18%	20%	3%	18%	22%	4%	
⑩柔軟性	21%	18%	-4%	21%	16%	-5%	
①責任感	29%	22%	-6%	26%	18%	-8%	
②一般教養	5%	3%	-2%	5%	3%	-3%	
⑬工学基礎力	20%	18%	-3%	18%	18%	0%	
⑭専門性	8%	41%	32%	9%	43%	34%	
⑤研究開発能力	2%	12%	10%	3%	9%	6%	

- ・ **@専門性**が最重視される(学部生比較で30%以上)
- ・ 次いで⑤研究開発能力、⑨論理性、③リーダーシップが重視される

1-3. 全企業/400 社比較

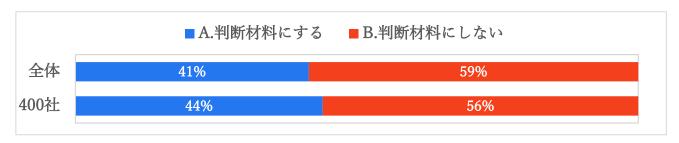
	学部生			大学院生			
	全体	400社	GAP(400社 - 全体)	全体	400社	GAP(400社- 全体)	
①コミュニケーション能力	90%	92%	2%	83%	84%	1%	
②主体性	76%	78%	2%	77%	81%	4%	
③リーダーシップ	18%	19%	2%	21%	22%	1%	
④誠実性	43%	40%	-2%	36%	34%	-2%	
⑤協調性	60%	60%	0%	52%	51%	-1%	
⑥ポテンシャル	17%	19%	3%	10%	13%	3%	
⑦チャレンジ精神	61%	62%	1%	56%	57%	2%	
⑧職業観・就労意識	7%	4%	-4%	9%	6%	-3%	
9論理性	18%	18%	1%	20%	22%	2%	
⑩柔軟性	21%	21%	-1%	18%	16%	-2%	
①責任感	29%	26%	-3%	22%	18%	-4%	
⑫一般教養	5%	5%	1%	3%	3%	0%	
⑬工学基礎力	20%	18%	-2%	18%	18%	1%	
④専門性	8%	9%	1%	41%	43%	2%	
⑤研究開発能力	2%	3%	1%	12%	9%	-3%	

上述1-2ほど顕著なGAPは見られない、全GAPが4%以内

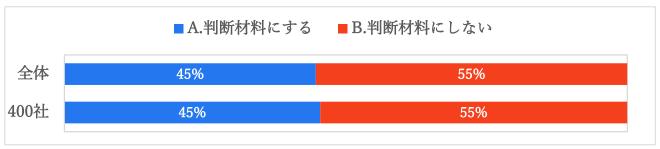
二. 海外渡航経験や英語力について

(設問)芝浦工業大学では「グローバル理工学人材」育成の一環として、学生の国際性の涵養(短期留学の奨励や英語力の養成等)にも力を入れています。このことに関する貴社のお考え等について、それぞれあてはまるものを一つ選んでチェックしてください。

2-1. 採用に際し、海外渡航経験や留学経験も判断材料にしますか?



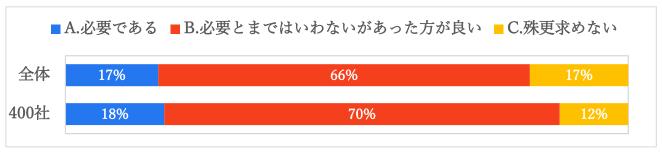
2-2. 採用に際し、英語力も判断材料にしますか?



(その他意見)

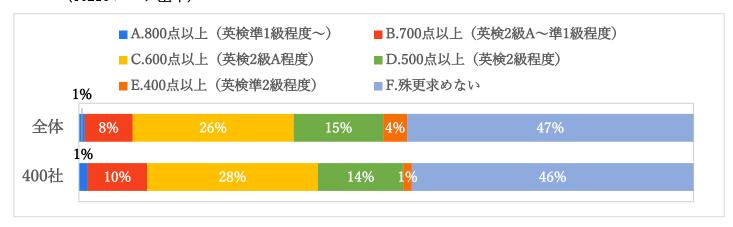
- 英語を必要とする部署または志望職種によって判断材料にする可能性がある
- ・ 海外渡航経験や語学力の有無だけでは判断せず、経験や学びを判断材料とする

2-3. 入社してから英語力は必要ですか?



- ・ 全体で83%の会社が「入社して英語力はあった方がよい」と回答
- ・ 400 社では88%が同上の回答
- ・ 2-1/2-2の回答で、「採用に関して海外経験/英語力を判断材料にする」が全体の 5 割弱だが、 2-3 で「入社してから英語力は必要」と回答した企業は 8 割
- ・ 採用時の英語力は不問としながら、入社後は英語力を求める企業が多い
- ・ 英語力が採用に肯定的な影響を与える可能性が大きいと推測できる

2-4. 新卒入社時に英語力は理想的にはどの程度あった方がよいとお考えですか? (TOEIC スコア基準)



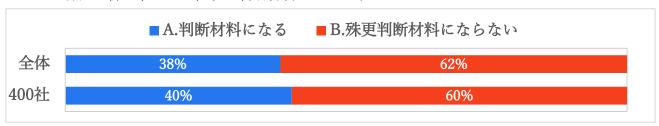
- · 企業全体の 35%が C. 600 点以上と回答
- ・ 400 社の 39%が C. 600 点以上と回答(微差ではあるが 400 社企業が英語力を求める傾向有り)
- ・ 400 社の1割がB.700点以上が望ましい

三、PBLについて

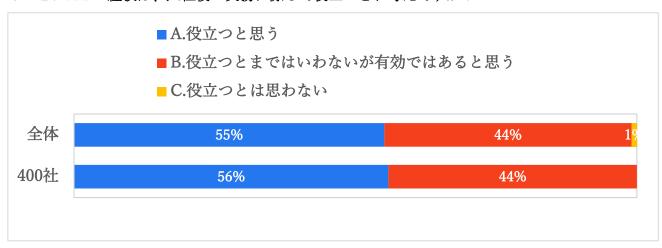
(設問)芝浦工業大学では、アクティブラーニング教育の一環として、従来から PBL [Project Based Learning (プロジェクト学習)] に取り組み、近年は国内外の協定校・企業・行政機関とも連携した「グローバル PBL」(※)を積極展開しています。 PBL に関する貴社のお考え等について、それぞれあてはまるものを一つ選んでチェックしてください。

(※)海外協定校の学生とチームを結成し、チームメイトと英語で議論しながら様々な課題を解決しつつプロジェクトを推進していく取り組み(実践的な課題解決スキルの習得に極めて有効)。

3-1. 採用に際し、PBL の経験は判断材料になりますか?



3-2. PBL の経験は、入社後の実務に際して役立つとお考えですか?



四. 芝浦工業大学の卒業生に対する評価

(設問) 芝浦工業大学の卒業生が貴社に在職している場合、次の各項についてご回答ください。

①《コミュニケーション能力》 相手の話を理解し、自分の意見を伝える能力があると思いますか?
②《主体性》 仕事にみずから自発的に取り組む姿勢があると思いますか?
④《誠実性》 仕事に対して誠実に取り組んでいると思いますか?
⑤《協調性》 まわりの仲間と協調して仕事ができると思いますか?
⑥《ボテンシャル》 将来、企業人として伸びる可能性があると思いますか?
⑥《ボテンシャル》 将来、企業人として伸びる可能性があると思いますか?
⑥《職業観・就労意識》 自分の仕事をよく理解し、意欲をもって仕事に取り組んでいると思いますか?
⑥《職業観・就労意識》 自分の仕事をよく理解し、意欲をもって仕事に取り組んでいると思いますか?
⑥《論理性》 課題解決するときや議論の際に、論理的に物事を捉えられると思いますか?
⑥《柔軟性》 いろいろな仕事に対し、柔軟に対応できる能力があると思いますか?
⑥《柔軟性》 いろいろな仕事に対し、柔軟に対応できる能力があると思いますか?
⑥《工学基礎力》 大学で学んだ工学分野についての基礎力がしっかりと身についていると思いますか?
⑥《専門性》 大学で学んだ専門分野の知識はもとより、業務遂行上身に着けた専門的な知識や経験を活かせていると思いますか?
⑥《研究開発能力》 研究開発部門で課題に取り組み、成果を発揮できる素養と能力があると思いますか?
⑥《研究開発能力》 基礎的な語学力を有し、業務に必要な外国語を習得する意欲と能力があると思いますか?



以上